R8 研修会 REPORT



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
ＴＥＬ:(0244)26-1314
ＦＡＸ:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和８年度
第３回算数・数学科授業研究会

○日　時：令和８年１１月６日（金）１３：１０～１６：３０
○会　場：南相馬市立原町第三小学校（南相馬市原町区上町一丁目１３番地）
○参加者：小学校教員６名、中学校教員４名　　計１０名
○内　容：○算数・数学科イノベーション人材育成推進教員による公開授業
「かけ算」授業者　南相馬市立原町第三小学校　教諭　鈴木　孝成
○グループ別による事後協議会
○講演・指導助言　「算数の授業における児童と教師の取組に学ぶ」
福島大学人間発達文化学類　教授　森本　明　様

【研修のまとめ】

事後研究会では、参観者のみなさんが**授業者の思いや願いに寄り添い、授業者の努力や実践のよさを進んで見つけたり、自分事として授業を捉え授業改善に向けた建設的なアイディアを伝えたり**するなど、**授業者と参観者の両者にとって大変有意義な時間**となりました。今後も、各校の事後協議会において、**授業者の思いや願いに寄り添いながら**、納得解を重視して**授業改善の質**を追究していただきたいと思います。

〔授業のポイント〕

大切にしたい算数の学び方を**精選し**鍛えており、**量の変化と対応**を念頭に、**数や式**について**具体物や図を操作活動によって関連付け**ていた。

〔指導助言〕

算数の学習は、他者とともに考えることで共通の土台の上に、価値あることを新たにつくり出す楽しさがあることに大きな特徴がある。**教師自身が問題解決者となって考えることを楽しむ**とともに、**子どもが知識を自ら構成できるように教師が働きかけや足場かけを考え、学びの環境を整えていくことが大切**である。

研修の感想

○「ひとつ分（かけられる数）×いくつ分（かける数）」にこだわっていたことがすばらしい。

○　かけ算の意味付け、きまりの発見、量の変化と対応の捉えが、これからの学習の基礎となっていることを改めて実感した。

○「理解」は教師が与えるものだと思っていたが、学習者側が自ら構成するものだと知り、自分のこれまでの授業を振り返る良い機会になった。

○　子どもが考え続けられるように、子どもの考えや戸惑いを受けとめ、勇気付けていくことが大切だと感じた。





１１月１２日　発行